

# 教授要綱 シラバス

令和 5 年 3 月 31 日

No.1-1

授業科目名	歯科英語	講義 実技 演習	担当教員	コガ・エンタープライズ株式会社 代表取締役 古賀 和憲 鶴見大学文学部非常勤講師 内田 愛
授業コード	英-2023-1講-前・後		連絡先	
分類	必修・選択必修			
学年	1年・2年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	水・金 曜日	15回	30時間	単位
時 限	1・2 限	9:00 ~ 10:30 10:40 ~ 12:10		2単位
<b>授業の概要と科目のねらい・到達目標</b>				
※ 歯科専門用語を英語で理解し、世界に通じる歯科技工士を育てる、また 歯科技工のグローバル化に対応できる技工士を育成する。				
<b>授業計画・内容 (進度・予定)</b>				<b>備 考</b>
1 回目	①dental anatomy word of direction			プリント使用 古賀 2
2 回目	②dental Thepermanent teeth, deciduous			プリント使用 古賀 2
3 回目	③dental Tooth composition			プリント使用 古賀 2
4 回目	④dental Central incisor, Cuspid			プリント使用 古賀 2
5 回目	⑤dental First premolar			プリント使用 古賀 2
6 回目	⑥dental Maxillary first molar			プリント使用 古賀 2
7 回目	⑦Crown Bridge Prosthetics, iniay			プリント使用 古賀 2
1 回目	合同クラス (発音練習、会話練習など)			プリント使用 内田 2
2 回目	合同クラス (発音練習、会話練習など)			プリント使用 内田 2
3 回目	合同クラス (発音練習、会話練習など)			プリント使用 内田 2
4 回目	合同クラス (発音練習、会話練習など)			プリント使用 内田 2
5 回目	合同クラス (発音練習、会話練習など)			プリント使用 内田 2
6 回目	合同クラス (発音練習、会話練習など)			プリント使用 内田 2
7 回目	合同クラス (発音練習、会話練習など)			プリント使用 内田 2
8 回目	合同クラス (発音練習、会話練習など)			プリント使用 内田 2
<b>評価方法</b>				total 30
中間試験と学期末テストによって評価する。				
<b>教科書</b>	最新歯科技工士教本 歯科英語 全国歯科技工士教育協議会編集			
<b>副読本・資料</b>	各項目ごとのプリント			
<b>その他</b>				

## 教授要綱 シラバス

令和 5 年 3 月 31 日

No.2

授業科目名	造形美術概論	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 勝田 崇仁
授業コード	美-2023-1演-前期	連絡先	〒	222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分類	必修 選択必修			
学年	1年 ・ 2年			
学期	前期 ・ 後期			
曜日・回数	水曜日 8回 32時間	単位	TEL	045 - 472 - 5223
時限	3~4限 13:00 ~ 16:10	1単位	E-mail	<a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>

## 授業の概要と科目のねらい・到達目標

造形美術概論の理論的背景を基に補綴物製作における関連性を理解する。

造形、色彩について学習し、歯科技工士が修復物などを製作する際に、直接的あるいは間接的に役立つ美的な感覚を養う。

## 授業計画・内容 (進度・予定)

備考

時間

回数	内容	備考	時間
1回目	歯の造形による構成、描写 1回目		4
2回目	歯の造形による構成、造形 1回目		4
3回目	歯の造形による構成、描写 2回目		4
4回目	歯の造形による構成、造形 2回目		4
5回目	歯の造形による構成、描写 3回目		4
6回目	歯の造形による構成、造形 3回目		4
7回目	歯の造形による構成、描写 4回目		4
8回目	歯の造形による構成、造形 4回目		4

## 評価方法

total

32

提出物(作品):着色・グラデーション及び立体造形(モデリング、カービング)を総合判断する。

評価ポイントは「観察力」「認識力」「表現力」。

教科書	「歯科技工士教本 造形美術概論」 医歯薬出版
副読本・資料	適宜、プリントを配布する。
その他	事前配布等の資料により各自準備をして授業に臨むこと。授業は3コマ×10回なので、授業の予定に合わせ遅れが生じた場合はデッサン・着色・立体造形(モデリング、カービング)は授業外時間で完成

教授要綱 シラバス

令和 5 年 3 月 31 日

No.3

授業科目名	人間共生学	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 小口 隆
授業コード	人-2023-2演-前・後	連絡先	〒	222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分類	必修 選択必修		TEL	045 - 472 - 5223
学年	1年 ・ 2年		携帯	- -
学期	前期 ・ 後期		E-mail	<a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>
曜日・回数	月～金 曜日 30 回	60時間	単位	
時 限			2単位	

**授業の概要と科目のねらい・到達目標**

職業従事者として必要な人と接する姿勢を修得するために、共生学に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容 (進度・予定)	備 考	時間
16回	グループに分かれて卒業研究発表を行う。グループ作成	2
17回	各グループに分かれて研究テーマを作成	2
18～20回	各グループに分かれてテーマに対し研究	14
21～23回	論文作成	8
24～25回	研究発表内容のパワーポイント作成	10
26回	研究発表予行練習	16
27～30回	研究発表	8

<b>評価方法</b>		total	60
研究テーマ、論文、口頭試問、発表態度等を勘案し評価を行う。			

<b>教科書</b>	各テーマに合った教本を使用
<b>副読本・資料</b>	最新歯科技工士教本・最新歯科衛生士教本等
<b>その他</b>	

教授要綱 シラバス

令和 5 年 3 月 31 日

No.4

授業科目名	歯科技工概論	講義 実技 演習	担当教員	学校法人 共生学園 学校長 細井 紀雄
授業コード	概-2023-1講-前期	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8	
分類	必修・選択必修		TEL 045 - 472 - 5223	
学年	1年・2年		携帯 - -	
学期	前期・後期		E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>	
曜日・回数	火 曜日 15 回 30時間	単位		
時 限	2限 10:0 ~ 12:30	2単位		

**授業の概要と科目のねらい・到達目標** 歯科技工学にはどのような科目があるかを知り、学ぶべき内容を知る。歯科技工士の業務を規定している歯科技工士法を学び、医療技術者としての自覚を高める。医の倫理についても理解を深める。  
 到達目標:①歯科医療の特異性を説明できる。②歯科技工について説明できる。③歯科疾患と歯科技工について説明できる。  
 ④歯科技工の材料と器具を説明できる。⑤歯科技工のデジタル化について説明できる。

授業計画・内容 (進度・予定)	備 考	時間
1回目 第6章 歯科技工で扱う材料・器具	細井	2
2回目 第1章 歯科医療と歯科技工 1	細井	2
3回目 第1章 歯科医療と歯科技工2, 3, 4	細井	2
4回目 第2章 歯科技工士の役割 1, 2, 3	細井	2
5回目 第3章 歯および口腔組織の形態と機能 1, 2	細井	2
6回目 第3章 歯および口腔組織の形態と機能 3	細井	2
7回目 第4章 歯科疾患と歯周組織の変化 1, 2, 3, 4	細井	2
8回目 第4章 歯科疾患と歯周組織の変化 5, 6, 7, 8, 9, 10	細井	2
9回目 第5章 歯科臨床と歯科技工 1, 2	細井、松本	2
10回目 第5章 歯科臨床と歯科技工 3, 5, 6, 7, 8	細井、松本	2
11回目 第6章 歯科技工の管理と運営 1, 2, 3	細井	2
12回目 第7章 口腔と全身の健康管理 1, 2, 3, 4	細井	2
13回目 第7章 口腔と全身の健康管理 5, 6	細井	2
14回目 第8章 情報リテラシー	細井、勝田	2
15回目 第9章 コミュニケーション	細井	2

<b>評価方法</b>	出席状況(2/3以上)および期末テスト(60%以上)で評価する。	total	28
-------------	----------------------------------	-------	----

<b>教科書</b>	最新歯科技工士教本 歯科技工士管理学 全国歯科技工士教育協議会編集
------------	-----------------------------------

<b>副読本・資料</b>	各項目ごとのプリント
---------------	------------

<b>その他</b>	次回の講義内容を各自予習して授業に臨むこと
------------	-----------------------



# 教授要綱 シラバス

令和 5 年 3 月 31 日

No.6

授業科目名	解剖学基礎	講義 実技 演習	担当教員	畠中歯科医院 畠中 直 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 永嶋 正道
授業コード	解基1-2023-1講-前・後	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8	
分類	必修・選択必修		TEL 045 - 472 - 5223	
学年	1年・2年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	月・木 曜日 25回 50時間	単位	携帯 - -	
時限	2・4限 10:40 ~ 12:10	3単位	E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>	

### 授業の概要と科目のねらい・到達目標

※歯の生物学的特性 歯の外形と内形 歯の種類と名称と記号 歯の方向と部位 歯の形態と植立様式 永久歯の形態的特徴 歯の組織と歯周組織の構造  
 歯の発生、発育および交換 歯と歯周組織および顎口腔の加齢現象 歯の数、形態および色の異常 歯列と咬合について学ぶ ※頭蓋骨の構造 顎顔面の筋の形態的特徴と機能 顎口腔の神経支配 顎関節の構造と機能 口腔と口蓋の構造 唾液腺の存在部位と役割 舌の構造と役割について学ぶ

### 授業計画・内容 (進度・予定)

	備 考	時間
1回目	歯の定義、機能、特性、植立、外形と内形	2
2回目	歯の種類と分類、歯の記号と歯式	2
3回目	歯の名称	2
4回目	歯の形の概説	2
5回目	上顎切歯	2
6回目	下顎切歯	2
7回目	犬歯	2
8回目	上顎小白歯	2
9回目	下顎小白歯	2
10回目	上顎大白歯	2
11回目	下顎大白歯	2
12回目	乳歯	2
13回目	歯の発生	2
14回目	歯の組織	2
15回目	歯周組織	2

### 評価方法

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 口腔、顎顔面解剖学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教授要綱 シラバス

令和 4 年 3 月 31 日

No.6

授業科目名	解剖学基礎 I	講義 実技 演習 担当教員	畠中歯科医院 畠中直 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 永嶋 正道	
16 回目	歯および歯周組織の加齢現象、歯の異常			2
17 回目	歯列、咬合			2
18 回目	脳頭蓋骨			2
19 回目	顔面頭蓋骨			2
20 回目	口腔周囲の筋と神経			2
21 回目	顎関節			2
22 回目	口腔の隣接機関、口腔			2
23 回目	口蓋、唾液腺			2
24 回目	舌			2
25 回目	咽頭、喉頭			2
		total	50	

# 教授要綱 シラバス

令和 5 年 3 月 31 日

No.7

授業科目名	解剖学応用	<b>講義 実技 演習</b>	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 小口 隆
授業コード	解応-2023-2講-前・後	<b>連絡先</b>	<b>連絡先</b>	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分類	<b>必修</b> ・選択必修			
学年	1年・ <b>2年</b>			
学期	<b>前期</b> ・ <b>後期</b>			
曜日・回数	火、木 曜日 8回 16時間	単位	<b>携帯</b>	自宅 045 - 472 - 5101
時 限	1・2・4限 <small>9:00~10:30 10:40~12:10 14:40~16:10</small>	1単位	<b>E-mail</b>	<a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>

### 授業の概要と科目のねらい・到達目標

※歯の形態や特徴、歯や顔面の発生、歯の組織、口腔内や頭部の骨・筋肉・神経などについて総合的に応用する。  
 ※学生が、歯の解剖・口腔解剖について知り、各内容について分類、説明ができ問題を読み解くことを目的とする。

授業計画・内容 (進度・予定)	備 考	時 間
1 回目	歯の概説と特徴、国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説	2
2 回目	歯の鑑別・永久歯の形態、国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説	2
3 回目	歯と歯周組織、国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説	2
4 回目	歯の発生・歯列と咬合、国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説	2
5 回目	頭蓋の骨、国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説	2
6 回目	口腔周囲の筋、国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説	2
7 回目	歯と歯周組織、口腔、国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説	2
8 回目	歯の解剖・口腔解剖総まとめ、国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説	2

### 評価方法

total 16

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	



教授要綱 シラバス				令和 5 年 3 月 31 日	No.8
授業科目名	歯型彫刻基礎 I	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 永嶋 正道	
授業コード	彫刻 I -2023-1実-前・後	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8		
分類	<u>必修</u> ・選択必修		自宅	045 - 472 - 5101	
学年	<u>1年</u> ・2年		携帯	- -	
学期	<u>前期</u> ・ <u>後期</u>		E-mail	<a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>	
曜日・回数	火 曜日 30回 60時間				
時限	3・4限 13:00~14:30 14:40~16:10				
授業の概要と科目のねらい・到達目標					
※ 歯冠修復物を製作できるようにするために、天然歯の形態及び特徴に関する知識、技術および、態度を身に付ける。					
授業計画・内容 (進捗・予定)			備考	時間	
1～3回	歯型彫刻	用語説明・デッサン描記	担当 永嶋	6	
4～5回	歯型彫刻	デモ・彫刻	担当 永嶋	4	
6～7回	歯型彫刻	形態説明・彫刻	担当 永嶋	4	
8～30回	歯型彫刻	石膏彫刻・デッサンの習得	担当 永嶋	46	
評価方法		total		60	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。</li> <li>・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。</li> </ul>					
教科書					
副読本・資料		資料およびレジュメなどは必要に応じて配付			
その他					

教授要綱 シラバス

令和 5 年 3 月 31 日

No.9

授業科目名	歯型彫刻基礎Ⅱ <span style="margin-left: 20px;">講義 実技 演習</span>	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 勝田 崇仁
授業コード	彫刻Ⅱ-2023-2実-前-後	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分類	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">必修</span> ・選択必修		自宅 045 - 472 - 5101
学年	1年 ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">2年</span>		携帯 - -
学期	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">前期</span> ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">後期</span>		E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>
曜日・回数	火・金 曜日 15回 30時間		
時限	3・4時限 13:00~14:30 14:40~16:10		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※ 歯冠修復物を製作できるようにするために、天然歯の歯冠形態及び特徴に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容（進度・予定）		備考	時間
1~11回	歯型彫刻 石膏彫刻とデッサン(1回に彫刻1本、デッサン1枚)	担当 勝田	22
12.13回	歯型彫刻 形態説明・彫刻	担当 勝田	4
14.15回	歯型彫刻 彫刻刀の使い方等を1年に説明	担当 三又	4

評価方法		total	30
	・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。		
教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。		
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付		
その他			

教授要綱 シラバス

令和 5 年 3 月 31 日

No.10

授業科目名	顎口腔機能学 基礎	講義 実技 演習	担当教員	鶴見大学歯学部 福島 俊士
授業コード	顎基-2023-2講-前		連絡先	
分類	必修・選択必修			
学年	1年・2年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	木曜日	10回	20時間	単位
時限	2限	10:40 ~ 12:10		1単位

授業の概要と科目のねらい・到達目標

- ※ 顎口腔系の構成要素ごとにそれぞれの機能を学習し、咬合器を通じてそれらを実現する製作手順を修得する。
- ※ 歯列・顎関節・筋肉・神経によって構成される顎口腔系の機能を説明できる。

授業計画・内容 (進度・予定)		備考	時間
1回目	顎口腔系の形態(1):歯と歯列・骨・筋		2
2回目	顎口腔系の形態(2):顎関節・軟組織・神経		2
3回目	顎口腔系の機能	小テスト(1)	2
4回目	下顎位		2
5回目	下顎運動(1)下顎の基本運動		2
6回目	下顎運動(2)下顎の限界運動・機能運動		2
7回目	歯の接触様式(咬頭嵌合位)	小テスト(2)	2
8回目	歯の接触様式(偏心咬合位)		2
9回目	咬合器:機構と分類・フェイスハウランスファー・咬合採得	小テスト(3)	2
10回目	咬合検査と顎機能障害		2

評価方法

total

20

学期末テストによって評価する。小テスト、提出物も含める

教科書	最新歯科技工士教本 顎口腔機能学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教授要綱 シラバス

令和5年3月31日

No.11

授業科目名	顎口腔機能学 応用 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">講義 実技 演習</span>	担当教員	鶴見大学歯学部 福島 俊士 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 勝田 崇仁
授業コード	顎応-2023-2講-後	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8  TEL 045 - 472 - 5223
分類	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">必修</span> ・選択必修		
学年	1年・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">2年</span>		
学期	前期・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">後期</span>		
曜日・回数	木・金 曜日 8回 16時間	単位	携帯 - -
時限	2限 10:40~12:10	1単位	E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※顎の動きや顎の動きに調和した噛み合わせの様々な様式、技工物製作に使用する咬合器について深く理解し、分類するために総合的に実施する。  
 ※学生が各項目について説明することができ、使用器具を正しく選択、取り扱いが行うことができる。

授業計画・内容 (進捗・予定)		備考	時間
1回目	顎口腔系の形態・機能	オリジナル編集問題の解答・解説	2
2回目	歯の接触様式・咬合器	オリジナル編集問題の解答・解説	2
3回目	歯と歯列・顎口腔系を構成する骨・顎口腔系に関する筋・神経支配	オリジナル編集問題の解答・解説	2
4回目	下顎運動の分析に関する基準点・基準面 咬合に関する平面	オリジナル編集問題の解答・解説	2
5回目	下顎位 下顎の基本運動 下顎の限界運動	オリジナル編集問題の解答・解説	2
6回目	咬合器の使用目的 機構と分類 フェイスボウトランスファー 咬合採得	オリジナル編集問題の解答・解説	2
7回目	国家試験対策①		2
8回目	国家試験対策②		2

評価方法	total	16
------	-------	----

学期末テストによって評価する。小テスト、提出物も含める

教科書	最新歯科技工士教本 顎口腔機能学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教授要綱 シラバス

令和5年3月31日

No.12

授業科目名	顎口腔機能学実践	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 小口 隆
授業コード	顎実-2023-2実-前期	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8	
分類	必修・選択必修		TEL 045 - 472 - 5223	
学年	1年・2年		携帯 - -	
学期	前期・後期		E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>	
曜日・回数	月～金 曜日 15回 30時間			
時限	1～4時限 9:00～10:30 10:40～12:10 13:00～14:30 14:40～16:10			

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※ 歯科技工士として臨床現場で働くために、架工、義歯の補綴物製作に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容 (進度・予定)	備考	時間
1～4回 口腔内を印象から模型調整までを行い作業模型の製作法を習得する	担当 小口	8
5～8回 顎の運動を確認、習得してチェックバイトを製作する	担当 小口	8
9～10回 顔弓を構造、使用法を習得してフェイスボウトランスファーができるようにする	担当 小口	4
11～14回 上顎ならびに下顎の模型を咬合器に正しく装着できるようにする	担当 小口	8
15回目 顎路角の調整と切歯路角の調整が出来るようにする	担当 小口	2

評価方法	total	30
------	-------	----

- ・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付
その他	

# 教授要綱 シラバス

令和 5 年 3 月 31 日

No.13

授業科目名	歯科理工学 基礎 1	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 永嶋 正道
授業コード	理基1-2023-1講-前期		連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8  TEL 045 - 472 - 5223  携帯 - -  E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>
分類	必修・選択必修			
学年	1年・2年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	火 曜日	15 回	単位	携 帯 - -
時 限	1 限	9:00~10:30	2単位	E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>

**授業の概要と科目のねらい・到達目標**

※歯科医療で使用される高分子材料、セラミック材料、複合材料の基礎知識と製作過程を学ぶ。  
 ※各種材料の持つ固有の性質を熟知し、材料学の観点から歯科技工製作時、その補綴物の優位性を判断出来得る人材を育成する。

授業計画・内容 (進度・予定)	備 考	時 間
1 回目	歯科技工と歯科理工学 講義ガイダンス	2
2 回目	物質の構造、機械的性質と試験法	2
3 回目	歯科材料の性質	2
4 回目	印象材 ハイドロコロイド系	2
5 回目	印象材 ラバー系、非弾性、模型材との関係	2
6 回目	模型材 石膏の種類	2
7 回目	石膏の一般的性質	2
8 回目	原型 ワックス	2
9 回目	レジン 加熱、常温重合の組成	2
10回目	加熱重合レジン製作	2
11回目	常温重合レジン、一般的性質、その他の成形法	2
12回目	義歯床関連材料、硬質レジン	2
13回目	陶材焼成	2
14回目	陶材の性質	2
15回目	焼付用陶材 オールセラミック その他の歯科材料	2

**評価方法**

total 30

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 歯科理工学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

# 教授要綱 シラバス

令和 5 年 3 月 31 日

No.14

授業科目名	歯科理工学 基礎 2	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 永嶋 正道
授業コード	理基2-2023-1講-後期	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8	
分類	必修・選択必修		TEL 045 - 472 - 5223	
学年	1年・2年		携帯 - -	
学期	前期・後期		E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>	
曜日・回数	火 曜日 15 回 30時間	単位	携 帯 - -	
時 限	1 限 9:00~10:30	2単位		

### 授業の概要と科目のねらい・到達目標

※歯科医療で使用される金属材料の基礎知識と製作過程で使用される器具機材について学ぶ。  
 ※各種材料の持つ固有の性質を熟知し、材料学の観点から歯科技工製作時、その補綴物の優位性を判断出来得る人材を育成する。

授業計画・内容 (進度・予定)	備 考	時間
1 回目	主な歯科用金属 歯科用合金	2
2 回目	貴金属合金	2
3 回目	非貴金属合金	2
4 回目	歯科用金属まとめ	2
5 回目	鑄造理論 埋没材	2
6 回目	石膏系、非石膏系埋没材	2
7 回目	埋没、加熱操作	2
8 回目	鑄造操作	2
9 回目	鑄造機の種類、鑄造体の処理	2
10回目	鑄造欠陥	2
11回目	金属の加工、接合	2
12回目	合金の熱処理 その他の歯科材料	2
13回目	補綴物の仕上げ 機械研磨、化学研磨	2
14回目	補綴物の仕上げ 器具、機械	2
15回目	補綴物の安定性 歯科技工の安全性	2

### 評価方法

total 30

進級試験によって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 歯科理工学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教授要綱 シラバス

令和 5 年 3 月 31 日

No.15

授業科目名	歯科理工学応用	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 永嶋 正道
授業コード	理応-2023-2講-前・後	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8	
分類	必修・選択必修		TEL 045 - 472 - 5223	
学年	1年・2年		携 帯 - -	
学期	前期・後期		E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>	
曜日・回数	火・水 曜日 15回 30時間	単位	携 帯 - -	
時 限	1・2・4限 9:00~10:30 10:40~12:10 14:40~16:10	2単位	E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>	

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※歯科理工学基礎1, 2で修得した知識を基に歯科医療で使用される各材料、器具機材の応用知識と製作方法を学ぶ。  
 ※各種材料の持つ固有の性質を熟知し、材料学の観点から歯科技工製作時、その補綴物の優位性を判断出来得る人材を育成する。

授業計画・内容 (進度・予定)	備 考	時間
1 回目 東京都問題の検証と解説、歯科材料の性質、印象採得編		2
2 回目 東京都問題の検証と解説、模型材(石膏)、原形(ワックス)編		2
3 回目 東京都問題の検証と解説、レジン成形、セラミック成形編		2
4 回目 東京都問題の検証と解説、合金、埋没材編		2
5 回目 東京都問題の検証と解説、鋳造、加工、接合、熱処理、仕上げ編		2
6 回目 1 埼玉問題の検証と解説		2
7 回目 2 埼玉問題の検証と解説		2
8 回目 1 千葉問題の検証と解説		2
9 回目 2 千葉問題の検証と解説		2
10 回目 1 北海道問題の検証と解説		2
11回目 2 北海道問題の検証と解説		2
12回目 1 大阪問題の検証と解説		2
13回目 2 大阪問題の検証と解説		2
14~15回 1、2 宮城問題の検証と解説		4

評価方法

total

30

学期末試験、卒業試験によって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 歯科理工学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	



教 授 要 綱 シ ラ バ ス

令和 5 年 3 月 31 日

No.16

授業科目名	歯科理工学実習	<b>講義</b> <b>実技</b> 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 永嶋 正道
授業コード	理実-2023-1実-前期		連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分類	<b>必修</b> ・選択必修			
学年	<b>1年</b> ・2年			
学期	<b>前期</b> ・後期			TEL 045 - 472 - 5223
曜日・回数	水・木・金 曜日 15回 30時間			携 帯 - -
時 限	1時限～4時限まで 9:00～10:30 10:40～12:10 13:00～14:30 14:40～16:10			E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>

授業の概要と科目のねらい・到達目標

歯科材料の基礎的な製作過程と歯科技工に用いる使用機器、機材の扱い方と特性を実習をとおして理解する

授業計画・内容 (進度・予定)		備 考	時間
1～8回	石膏の操作練習	石膏材料の操作を習得する	担当 永嶋 16
9～12回	ワックスの操作練習	ワックス材料の操作を習得する	担当 永嶋 8
13～15回	レジンの操作練習	レジン材料の操作を習得する	担当 永嶋 6

評価方法		total	30
------	--	-------	----

- ・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書	
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付
その他	

# 教授要綱 シラバス

令和 5 年 3 月 31 日

No.17

授業科目名	歯科理工学実験	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 永嶋 正道
授業コード	理験-2023-1実-後期	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8  TEL 045 - 472 - 5223 携 帯 - - E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>	
分 類	必修・選択必修			
学 年	1年・2年			
学 期	前期・後期			
曜日・回数	火 曜日 8回 32時間			
時 限	3・4限 13:00~14:30 14:40~16:10			

**授業の概要と科目のねらい・到達目標**

歯科技工材料の基礎知識と実験機器、機材の扱い方と特性を実験を通して理解する。

授業計画・内容 (進度・予定)	備 考	
1 回目 石膏の硬化膨張	担当 永嶋	4
2 回目 埋没材の熱膨張	担当 永嶋	4
3 回目 金属の加工硬化	担当 永嶋	4
4 回目 ワックスの性質	担当 永嶋	4
5 回目 レジンの重合	担当 永嶋	4
6 回目 印象材の硬化時間	担当 永嶋	4
7 回目 鋳造体の適合性	担当 永嶋	4
8 回目 陶材の焼成	担当 永嶋	4

**評価方法** 32

実験データをレポートにまとめ提出

教科書	
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付
その他	

教授要綱 シラバス

令和 5 年 3 月 31 日

No.18

授業科目名	全部床義歯技工学	講義 実技 演習	担当教員	鶴見大学 歯学部 石川 千恵子 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 三又 真奈美
授業コード	有全-2023-1講-前期	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8	TEL 045 - 472 - 5223
分類	必修・選択必修			
学年	1年・2年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	月曜日 15回 30時間	単位	携帯	-
時限	3限 13:00 ~ 14:30	2単位	E-mail	<a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>

授業の概要と科目のねらい・到達目標

- ※ 全部床義歯製作の順序を理解する。
- ※ 全部床義歯製作のための技工操作を修得する。

授業計画・内容 (進度・予定)	備考	時間
1回目 全部床義歯技工学概説と製作順序		2
2回目 全部床義歯の特性 生体についての基礎知識		2
3回目 印象採得・解剖学的ランドマーク・印象とトレー・精密印象		2
4回目 作業模型の処理・咬合床の製作・咬合器・咬合器装着		2
5回目 人工歯の種類と選択 排列・歯肉形成		2
6回目 埋没の前準備と埋没 流蠟・義歯床用レジンの重合		2
7回目 咬合器の再装着・人工歯の削合・研磨		2
8回目 生体についての基礎知識 形態的・機能的基礎知識		2
9回目 全部床義歯の特性		2
10回目 全部床義歯の製作順序		2
11回目 印象採得・解剖学的ランドマーク・無歯顎の対向関係		2
12回目 無歯顎印象とトレー・精密印象と作業模型		2
13回目 咬合採得に伴う技工作業・歯科医師による咬合採得		2
14回目 咬合器装着と調節・Go-A描記装置の取り付け・再装着		2
15回目 修理・リベースとリライン・金属床		2

評価方法

total

30

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教授要綱 シラバス

令和 5 年 3 月 31 日

No.19

授業科目名	部分床義歯技工学	講義 実技 演習	担当教員	鶴見大学歯学部歯科補綴学 鶴見大学歯学部有床義歯 新保秀仁 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 三又真奈美
授業コード	有部-2023-1講-後期	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8	TEL 045 - 472 - 5223
分類	必修・選択必修			
学年	1年・2年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	月曜日 15回	30時間	単位	携帯 - -
時限	3限	13:00 ~ 14:30	2単位	E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>

授業の概要と科目のねらい・到達目標

- ※部分床義歯の構成要素、設計、製作方法を学ぶ
- ※部分欠損の障害、治療計画を学ぶ

授業計画・内容 (進度・予定)	備考	時間
1回目 部分床義歯の特性、製作順序、構成要素		2
2回目 部分床義歯の特性、義歯の分類		2
3回目 印象採得、咬合採得		2
4回目 クラスプの製作、サベイング		2
5回目 支台装置		2
6回目 連結子、義歯床、人工歯		2
7回目 バーの製作、排列から完成		2
8回目 欠損による分類方法		2
9回目 印象採得		2
10回目 咬合採得、咬合器装着		2
11回目 クラスプの製作		2
12回目 部分床義歯の構成要素		2
13回目 排列、重合、研磨完成		2
14回目 オーバーデンチャー、金属床義歯		2
15回目 ハンクラスプデンチャー、ジルコニアフレーム		2

評価方法	total	30
------	-------	----

学期末テストおよび小テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教授要綱 シラバス

令和 5 年 3 月 31 日

No.20

授業科目名	有床義歯技工学 応用 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">講義 実技 演習</span>	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 小口 隆
授業コード	有応-2023-2講-前・後	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8  TEL 045 - 472 - 5223
分類	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">必修</span> ・選択必修		
学年	1年 ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">2年</span>		
学期	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">前期</span> ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">後期</span>		
曜日・回数	火・水・木 曜日 15 回 30時間	単位	携 帯 - -
時 限	1・4限 9:00~10:30 14:40~16:10	2単位	E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>

授業の概要と科目のねらい・到達目標

全部床義歯並びに部分床義歯を製作できるようにするために、義歯に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容 (進度・予定)	備 考	時間
1 回目 有床義歯技工学概説、全部床義歯の製作	教科書 P.3~47	2
2 回目 全部床義歯の製作、咬合器装着から義歯の研磨	教科書P.48~102	2
3 回目 部分床義歯の構成要素と各分類、支台装置の種類	教科書P.104~146	2
4 回目 部分床義歯の連結装置、義歯床、人工歯、	教科書P.147~157	2
5 回目 部分床義歯の製作	教科書P.158~230	2
6 回目 義歯修理、リベース、オーバーデンチャー、金属床、その他の有床義	教科書P.231~273	2
7 回目 有床基礎知識の国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
8 回目 全部床の国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
9 回目 全部床の国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
10回目 部分床の国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
11回目 部分床の国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
12回目 修理等の国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
13回目 過去の国家試験問題を利用した問題の解答・解説		2
14回目 過去の国家試験問題を利用した問題の解答・解説		2
15回目 国試対策、全部床義歯の問題の傾向と対策		2

評価方法

total

30

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学 全国歯科技工士教育協議会編集
別読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

# 教授要綱 シラバス

令和 5 年 3 月 31 日

No.21

授業科目名	全部床義歯技工学基礎実習 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">講義 実技 演習</span>	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 永嶋 正道
授業コード	全実-2023-1実-前期	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分類	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">必修</span> ・選択必修		TEL 045 - 472 - 5223
学年	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">1年</span> ・2年		携帯 - -
学期	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">前期</span> ・後期		E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>
曜日・回数	月～金 曜日 75回 150時間		
時限	1時限～4時限まで <small>9:00～10:30 10:40～12:10 13:00～14:30 14:40～16:10</small>		

**授業の概要と科目のねらい・到達目標**

無歯顎患者に対する治療の流れに沿った実習を行い、全部床義歯の製作方法を習得する。

授業計画・内容 (進度・予定)	備 考	時間
1～2回 咬合床の製作 設計	担当 永嶋	4
3～8回 咬合床の製作 基礎床の成型	担当 永嶋	12
9～14回 咬合床の製作 咬合提の成型	担当 永嶋	12
15～16回 全部床義歯の製作 製作法を習得する	担当 永嶋	4
17～25回 全部床義歯の製作 咬合器装着	担当 永嶋	18
26～36回 全部床義歯の製作 蝟義歯製作・人工歯排列	担当 永嶋	22
37～42回 全部床義歯の製作 蝟義歯製作・歯肉形成	担当 永嶋	12
43～56回 全部床義歯の製作 床材料の置換	担当 永嶋	28
57～66回 全部床義歯の製作 咬合調整	担当 永嶋	20
67～75回 全部床義歯の製作 研磨・完成	担当 永嶋	18

<b>評価方法</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。</li> <li>・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。</li> </ul>	total	150
<b>教科書</b>	・本校オリジナルの実習書を配布する。		
<b>副読本・資料</b>	・最新歯科技工士教本 有床義歯技工学		
<b>その他</b>			

**教 授 要 綱 シ ラ バ ス**

令和 5 年 3 月 31 日

No.22

授業科目名	部分床義歯技工学基礎実習 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">講義 実技 演習</span>	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 永嶋 正道
授業コード	部実-2023-1実-後期	<b>連絡先</b>	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8  TEL 045 - 472 - 5223 携 帯 - - E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>
分類	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">必 修</span> ・選択必修		
学 年	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">1年</span> ・2年		
学 期	前 期 ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">後 期</span>		
曜日・回数	月～金 曜日 30回 60時間		
時 限	1時限～4時限まで 9:00～10:30 10:40～12:10 13:00～14:30 14:40～16:10		

**授業の概要と科目のねらい・到達目標**

部分床義歯の製作を通して、模型の調査方法や維持装置の製作方法を習得する。

授業計画・内容 (進捗・予定)	備 考	時 間
1～2回 部分床義歯の製作 設計	担当 永嶋	4
3～6回 部分床義歯の製作 模型調査	担当 永嶋	8
7～11回 部分床義歯の製作 維持装置の製作	担当 永嶋	10
12～14回 部分床義歯の製作 蠟義歯製作・人工歯排列	担当 永嶋	6
15～17回 部分床義歯の製作 蠟義歯製作・歯肉形成	担当 永嶋	6
18～27回 部分床義歯の製作 床材料の置換	担当 永嶋	20
28～30回 部分床義歯の製作 研磨・完成	担当 永嶋	6

<b>評価方法</b>		total	60
-------------	--	-------	----

- ・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

<b>教科書</b>	・本校オリジナルの実習書を配布する。
------------	--------------------

<b>副読本・資料</b>	・最新歯科技工士教本 有床義歯技工学
---------------	--------------------

<b>その他</b>	
------------	--

# 教授要綱 シラバス

令和 5 年 3 月 31 日

No.23

授業科目名	歯冠修復技工学 基礎 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; margin-left: 10px;">講義 実技 演習</span>	担当教員	山本歯科医院 山本 鉄雄 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 勝田 崇仁
授業コード	歯基-2023-1講-前・後	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分類	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">必修</span> ・選択必修		
学年	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">1年</span> ・2年		
学期	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">前期</span> ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">後期</span>		
曜日・回数	月曜日 25回 50時間	単位	携帯 - -
時限	1限 9:00 ~ 10:30	3単位	E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>

### 授業の概要と科目のねらい・到達目標

※歯冠修復治療の手順と補綴物の具備すべき要件を理解し、機能の回復および歯周組織との調和に必要な知識を学ぶ。  
 ※機器と材料の特徴を理解し、機能的および形態的に残存歯牙と調和の取れた補綴物を製作するための基礎的なことを学ぶ。

### 授業計画・内容 (進捗・予定)

	備 考	時間
1回目	1歯冠修復技工学の概要 2クラウンの概要と種類	2
2回目	6歯冠修復物と部分被覆冠 7全部被覆冠	2
3回目	3 ブリッジの概要と種類	2
4回目	8ブリッジ	2
5回目	5 クラウンとブリッジの製作(1臨床ステップの概要 3研究用模型スタディモデル)	2
6回目	5 クラウンとブリッジの製作(4印象用トレー 5支台築造)	2
7回目	5 クラウンとブリッジの製作(6テンポラリークラウン・ブリッジ 7色調選択)	2
8回目	5 クラウンとブリッジの製作(8作業用模型 9咬合器装着)	2
9回目	5 クラウンとブリッジの製作(10クラウンに与える咬合 11ワックスアップ)	2
10回目	5 クラウンとブリッジの製作(12埋没 13鑄造作業 14 連結法)	2
11回目	5 クラウンとブリッジの製作(15調整 16研磨 17試適・仮着・合着)	2
12回目	5 クラウンとブリッジの製作(18レジン前装冠 19陶材の築盛・焼盛 20クラウンの不具合の原因)	2

### 評価方法

中間試験および学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	



# 教授要綱 シラバス

令和 5 年 3 月 31 日

No.23

授業科目名	歯冠修復技工学 基礎 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: inline-block; vertical-align: middle; text-align: center; line-height: 20px; margin-left: 10px;">講義 実技 演習</div>	担当教員	山本歯科医院 山本 鉄雄 新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 勝田 崇仁	
13回目	1歯冠修復技工学の概要 4クラウンとブリッジの具備要件			2
14回目	4クラウンとブリッジの具備要件			2
15回目	4クラウンとブリッジの具備要件			2
16回目	5 クラウンとブリッジの製作(1臨床ステップの概要 3研究用模型スタディモデル)			2
17回目	5 クラウンとブリッジの製作(4印象用トレー 5支台築造)			2
18回目	5 クラウンとブリッジの製作(6テンポラリークラウン・ブリッジ 7色調選択)			2
19回目	5 クラウンとブリッジの製作(8作業用模型 9咬合器装着)			2
20回目	5 クラウンとブリッジの製作(10クラウンに与える咬合 11ワックスアップ)			2
21回目	5 クラウンとブリッジの製作(12埋没 13鑄造作業 14 連結法)			2
22回目	5 クラウンとブリッジの製作(15調整 16研磨 17試適・仮着・合着)			2
23回目	5 クラウンとブリッジの製作(18レジン前装冠 19陶材の築盛・焼盛 20クラウンの不具合の原因)			2
24回目	9 インプラント			2
25回目	10 CAD/CAMシステム			2
			total	50
<b>評価方法</b>				
中間試験および学期末テストによって評価する。				
<b>教科書</b>	最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学 全国歯科技工士教育協議会編集			
<b>副読本・資料</b>	各項目ごとのプリント			
<b>その他</b>				

# 教授要綱 シラバス

令和 5 年 3 月 31 日

No.24

授業科目名	歯冠修復技工学 応用	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 勝田 崇仁
授業コード	歯応-2023-2講-前期	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8	
分類	必修・選択必修		TEL 045 - 472 - 5223	
学年	1年・2年		携帯 - -	
学期	前期・後期			
曜日・回数	火、木 曜日 10回 20時間	単位	1単位	
時限	1・4限 9:00~10:30 14:40~16:10			

**授業の概要と科目のねらい・到達目標**

※歯冠修復物及び架工義歯を製作できるようにするために、口腔内での機能及び形態に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

回数	授業計画・内容 (進度・予定)	備考	時間
1回目	トレー・印象材～		2
2回目	作業模型トリミング～		2
3回目	プロビジョナル・レストレーション		2
4回目	蝋形成・埋没・鋳造		2
5回目	インレー・クラウン～		2
6～7回	レジン前装冠関係～		4
8～9回	ポーセレン関係～		4
10回目	鑲付け・フラックス～		2

**評価方法**

total      20

提出作品および中間テストと学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	



# 教授要綱 シラバス

令和 5 年 3 月 31 日

No.26

授業科目名	歯冠修復技工学応用実習	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 永嶋 正道	
授業コード	冠応-2023-1実-後期	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8		
分類	必修・選択必修		TEL	045 - 472 - 5223	
学年	1年・2年		携帯	- -	
学期	前期・後期		E-mail	<a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>	
曜日・回数	月～木 曜日 60回 120時間				
時限	1時限～4時限まで <small>9:00～10:30 10:40～12:10 13:00～14:30 14:40～16:10</small>				

**授業の概要と科目のねらい・到達目標**

各種の歯冠修復及び架工義歯に関する知識及び技術について修得する。

授業計画・内容 (進度・予定)	備 考	時間
1～2回 レジン前装冠の製作	模型製作	担当 永嶋 4
3～5回 レジン前装冠の製作	蝋原型製作	担当 永嶋 6
6～9回 レジン前装冠の製作	窓開け	担当 永嶋 8
10～13回 レジン前装冠の製作	埋没・鑄造	担当 永嶋 8
14～17回 レジン前装冠の製作	前装部形態修整	担当 永嶋 8
18～21回 レジン前装冠の製作	歯冠色レジンの築盛	担当 永嶋 8
22～25回 レジン前装冠の製作	レジン部形態修整	担当 永嶋 8
26～27回 レジン前装冠の製作	研磨・完成	担当 永嶋 4
28～32回 ブリッジの製作	模型製作	担当 永嶋 10
32～40回 ブリッジの製作	蝋原型製作	担当 永嶋 16
41～46回 ブリッジの製作	埋没・鑄造	担当 永嶋 12
47～49回 ブリッジの製作	メタル調整・レジン築盛	担当 永嶋 6
50～55回 ブリッジの製作	レジン部形態修整	担当 永嶋 12
56～60回 ブリッジの製作	研磨・完成	担当 永嶋 10

**評価方法**

total

120

- ・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

**教科書**

・本校オリジナルの実習書を配布する。

**副読本・資料**

・最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学

**その他**

## 教授要綱 シラバス

令和 5 年 3 月 31 日

No.27

## 教授要綱 シラバス

令和 5 年 3 月 31 日

No.28

授業科目名	小児歯科技工学基礎	講義 実技 演習	担当教員	神奈川歯科大学短期大学部 特任教授 西村 康
授業コード	小児-2023-2講-前期	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8	
分類	必修・選択必修		TEL 045 - 472 - 5223	
学年	1年・2年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	木曜日 8回 16時間	単位	携帯 - -	
時限	1限 9:00 ~ 10:30	1単位	E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>	
授業の概要と科目のねらい・到達目標		顎・顔面、歯列、歯などから構成される総合的咀嚼器官の正常な育成のために、小児歯科医療は成長発達期のものを対象として顎口腔領域の疾患や異常の予防と治療を行い、健康の維持増進を図っている。小児歯科技工学においては、正常な育成を阻害する疾患や異常に対して、機能回復、予防をはかる修復物や装置を製作することが意義として挙げられている。そのためには小児の特性および生理的变化をよく理解して、それが技工物に反映できることが重要である。		
授業計画・内容 (進捗・予定)		備考		
1回目	小児歯科技工学の概説、成長発達段階、全身の成長発達	教科書 P.1~9	2	
2回目	成長発達と年齢、小児の年齢評価、顎・顔面の成長発達	教科書 P.9~14	2	
3回目	歯の萌出時期(乳歯・永久歯)、乳歯の形態的特徴	教科書P.15~21	2	
4回目	歯列の発達変化①	教科書P.18~29	2	
5回目	歯列の発達変化②	教科書P.29~33	2	
6回目	小児の齲蝕、小児の歯冠修復	教科書P.34~37、プリント	2	
7回目	保険装置(固定保険装置、可撤保険装置)、口腔習癖	教科書P.38~60	2	
8回目	スペースリテーナー、口腔習癖除去装置、咬合誘導装置に用いる維持装置	教科書P.61~80	2	
評価方法		total		16
学期末テストによって評価する。				
教科書	最新歯科技工士教本 小児歯科技工学 全国歯科技工士教育協議会編集			
副読本・資料	各項目ごとのプリント			
その他				

# 教授要綱 シラバス

令和 5 年 3 月 31 日

No.29

授業科目名	小児歯科技工学応用	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 三又 真奈美
授業コード	小児-2023-2講-後期	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8	
分類	必修・選択必修		TEL 045 - 472 - 5223	
学年	1年・2年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	火・木・金 曜日 8回 16時間	単位	携帯 - -	
時限	1・2限 9:00~10:30 10:40~12:10	1単位	E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>	

### 授業の概要と科目のねらい・到達目標

※小児の成長発育、乳歯の特徴、小児の歯冠修復、口腔誘導に関わる装置について理解を深める。

※1. 小児の成長発育について説明できる。2. 小児の年齢評価について説明できる。3. 乳歯の特徴および歯の萌出順序について説明できる。4. 乳歯列の特徴について説明できる。

5. 混合歯列期の特徴について説明できる。6. 小児の歯冠修復について説明できる。7. 咬合誘導装置について説明できる。8. 咬合誘導装置に関する各種維持装置について説明できる。

授業計画・内容	(進捗・予定)	備考	時間
1回目	小児の成長発育		2
2回目	小児の年齢評価		2
3回目	乳歯の特徴、乳歯・永久歯の萌出順序		2
4回目	乳歯列期の特徴		2
5回目	混合歯列期の特徴		2
6回目	小児の歯冠修復		2
7回目	咬合誘導装置		2
8回目	咬合誘導装置に関する各種維持装置		2

### 評価方法

total 16

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本 小児歯科技工学 全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教授要綱 シラバス

令和 5 年 3 月 31 日

No.30

授業科目名	小児歯科技工学実習	<small>講義 実技 演習</small>	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 小口 隆
授業コード	小実-2023-2実-後期		<b>連絡先</b>	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分類	必修・選択必修			TEL     045 -   472   -   5223
学年	1年・2年			携 帯           -           -
学期	前期・後期			E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>
曜日・回数	月～金	曜日   15回		30時間
時 限	1～4時限			9:00～10:30 10:40～12:10 13:00～14:30 14:40～16:10

**授業の概要と科目のねらい・到達目標**

※ 小児の補綴物を製作できるようにするために、乳歯の特徴と成長発育に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容	（進度・予定）	備 考	時間
1～9回	小児義歯 製作	補綴物の説明・製作ができる	担当 小口 18
10～15回	クラウンループ製作	補綴物の説明・製作ができる	担当 小口 12

<b>評価方法</b>		total	30
-------------	--	-------	----

- ・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

**教科書** 本校オリジナルの実習書を配布する。

**副読本・資料** 資料およびレジュメなどは必要に応じて配付

**その他**



教授要綱 シラバス

令和 5 年 3 月 31 日

No.31

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※矯正歯科技工学の基礎や治療のメカニズムを理解し、矯正装置の種類、製作法を習得する。

※各種不正咬合に対応した矯正装置を適切に制作できる人材を育成する。

小テスト、提出物、学期末テストによって評価する。

# 教授要綱 シラバス

令和 5 年 3 月 31 日

No.32

授業科目名	矯正歯科技工学応用	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 三又 真奈美
授業コード	矯正-2023-2講-後期	連絡先	TEL	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8  045 - 472 - 5223
分類	必修・選択必修			
学年	1年・2年			
学期	前期・後期			
曜日・回数	火・木・金 曜日 8回 16時間	単位	携帯 - -	
時限	1・2 限 9:00~10:30 10:40~12:10	1単位	E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>	

### 授業の概要と科目のねらい・到達目標

※矯正治療の目的や不正咬合の特徴、矯正のメカニズムや各種矯正装置について理解を深める。

※1. 正常咬合について説明できる。2. 不正咬合について説明できる。3. 矯正歯科技工の器具の取り扱いについて説明できる。4. 線屈曲の方法と自在鑑付けについて説明できる。

5. 矯正用口腔模型の種類と違いについて説明できる。6. 矯正力や固定源による矯正装置の分類ができる。7. 動的矯正装置の目的と製作を説明できる。8. 静的矯正装置の目的と製作を説明できる。

### 授業計画・内容 (進捗・予定)

	備 考	時間
1 回目	正常咬合	2
2 回目	不正咬合	2
3 回目	矯正歯科技工用器具と器械、材料	2
4 回目	矯正技工の基本的な手技	2
5 回目	矯正用口腔模型	2
6 回目	矯正装置の分類	2
7 回目	動的矯正装置の目的と製作	2
8 回目	静的矯正装置の目的と製作	2

### 評価方法

total

16

学期末テストによって評価する。

### 教科書

最新歯科技工士教本 矯正歯科技工学 全国歯科技工士教育協議会編集

### 副読本・資料

各項目ごとのプリント

### その他

教授要綱 シラバス

令和 5 年 3 月 31 日

No.33

授業科目名	矯正歯科技工学実習	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 小口 隆
授業コード	矯実-2023-2実-前期	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8	
分類	必修・選択必修		TEL 045 - 472 - 5223	
学年	1年・2年			
学期	前期・後期		携帯 - -	
曜日・回数	月～金 曜日 15回 30時間		E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>	
時限	1～4時限 <small>9:00～10:30 10:40～12:10 13:00～14:30 14:40～16:10</small>			

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※ 歯科矯正治療の補綴物を製作できるようにするために、矯正のメカニズムと各種装置に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容 (進度・予定)	備考	時間
1～6回 リンガルアーチ製作実習 補綴物の説明・製作ができる	担当 小口	12
7～12回 保定装置製作 (ホーレーの保定装置) 補綴物の説明・製作ができる	担当 小口	12
13～15回 平面屈曲 屈曲を習得する	担当 小口	6

評価方法		total	30
------	--	-------	----

- ・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付
その他	

教 授 要 綱 シ ラ バ ス

令和 5 年 3 月 31 日

No.34

教授要綱 シラバス

令和5年3月31日

No.35

授業科目名	先進技工実習Ⅱ	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 小口 隆
授業コード	先Ⅱ-2023-2実-後期	連絡先 〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8 TEL 045 - 472 - 5223 携帯 - - E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>		
分類	必修・選択必修			
学年	1年 ・ 2年			
学期	前期 ・ 後期			
曜日・回数	月～金 曜日 90回 180時間			
時限	1～4時限 9:00～10:30 10:40～12:10 13:00～14:30 14:40～16:10			
授業の概要と科目のねらい・到達目標				

※ 新しく開発された技術や材料を使いこなせるようになるために、その製作方法を学び理論と技術を習得する実習を行う。

授業計画・内容（進度・予定）	備考	時間
1～4回 CAD/CAM練習 CADのデザインを習得する	担当 三又	8
5～30回 コハルトクロム部分床義歯製作 製作法を習得する	担当 小口	52
31～48回 ノックラスプ実習 製作法を習得する	担当 小口	36
49～90回 チタン床の実習 チタンフレームの説明・製作ができる	担当 小口	84

評価方法	total		180
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。</li> <li>・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。</li> </ul>		
教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。		
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付		
その他			

教授要綱 シラバス

令和 5 年 3 月 31 日

No.36

授業科目名	総合歯科実習 I 講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 勝田 崇仁
授業コード	総 I -2023-1実-前期	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分類	必修・選択必修		TEL 045 - 472 - 5223
学年	1年・2年		携帯 - -
学期	前期・後期		E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>
曜日・回数	月～金 曜日 68回 136時間		
時限	1時限～4時限まで 9:00～10:30 10:40～12:10 13:00～14:30 14:40～16:10		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

模型製作の方法と制限時間内に石膏模型を製作する技術を習得する。  
部分床義歯の石膏埋没方法の習得と完成に至るまでの過程技術の習得

授業計画・内容 (進捗・予定)	備 考	時間
1回 CAD/CAM練習 CADの基礎を習得する	担当 勝田	40
2～8回 個人トレー製作実習 製作法を習得する	担当 勝田	14
46～12回 合同実習 彫刻の基礎を習得する	担当 勝田	8
19～47回 全部床義歯実習 前歯排列までを習得	担当 勝田	54
48～55回 定期試験受験用模型製作 前期校内試験用の模型製作	担当 勝田	14
56～59回 ワイヤー屈曲実習 屈曲の基礎を習得する	担当 勝田	6

評価方法	total	136
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。</li> <li>・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。</li> </ul>		

教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本・資料	・最新歯科技工士教本 有床義歯技工学・歯冠修復技工学
その他	

## 教授要綱 シラバス

令和 5 年 3 月 31 日

No.37

授業科目名	総合歯科実習Ⅱ	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 永嶋 正道
授業コード	総Ⅱ-2023-1実-後期	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8	
分類	必修・選択必修		TEL 045 - 472 - 5223	
学年	1年・2年		携帯 - -	
学期	前期・後期		E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>	
曜日・回数	火木金 曜日 68回 136時間			
時限	1時限～4時限まで <small>9:00～10:30 10:40～12:10 13:00～14:30 14:40～16:10</small>			

### 授業の概要と科目のねらい・到達目標

人工歯排列や線屈曲、歯冠修復補綴物の反復練習により、基礎的手技の向上を目指す。

授業計画・内容 (進度・予定)	備 考	時間
1～2回 部分床義歯の製作 設計	担当 永嶋	4
3～6回 部分床義歯の製作 模型調査	担当 永嶋	8
7～11回 部分床義歯の製作 維持装置の製作	担当 永嶋	10
12～14回 部分床義歯の製作 蝟義歯製作・人工歯排列	担当 永嶋	6
15～17回 部分床義歯の製作 蝟義歯製作・歯肉形成	担当 永嶋	6
18～27回 部分床義歯の製作 床材料の置換	担当 永嶋	20
28～30回 部分床義歯の製作 研磨・完成	担当 永嶋	6
31～60回 全部床排列 排列歯肉形成 反復製作	担当 永嶋	60
61～68回 ブリッジ、前装冠 ワックスアップ ブリッジ、前装冠反復練習	担当 永嶋	16

### 評価方法

total

136

- ・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

### 教科書

・本校オリジナルの実習書を配布する。

### 副読本・資料

・最新歯科技工士教本 有床義歯技工学・歯冠修復技工学

### その他

教授要綱 シラバス

令和 5 年 3 月 31 日

No.38

授業科目名	総合歯科実習Ⅲ	講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 三又 真奈美
授業コード	総Ⅲ-2023-2実-前期		連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8
分類	必修・選択必修			TEL 045 - 472 - 5223
学年	1年・2年			携帯 - -
学期	前期・後期			E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>
曜日・回数	月～金 曜日 68回 136時間			
時限	1～4時限 9:00～10:30 10:40～12:10 13:00～14:30 14:40～16:10			

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※ 歯科技工士として臨床現場で働くために、架工、義歯の補綴物製作に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容 (進度・予定)	備 考	時間
1～20回 実習使用模型製作	臨床的模型での製作法の習得	担当 三又 40
21～24回 全部床義歯実習	蝤義歯完成までを習得	担当 三又 8
25～26回 印象採得実習	口腔内印象の模型製作法を習得	担当 三又 4
27～29回 歯冠修復補綴物の製作	歯冠修復waxupを習得	担当 三又 6
30～35回 TEK製作実習	製作法を習得し説明できる	担当 三又 12
36～43回 マウスガード製作実習	製作法を習得し説明できる	担当 三又 16
44～53回 定期試験受験用模型製作	前期校内試験用の模型製作	担当 三又 20
54～68回 幼稚園実習	コミュニケーション能力を高める	担当 三又 30

評価方法	total 136
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。</li> <li>・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。</li> </ul>	
教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付
その他	



教授要綱 シラバス

令和5年3月31日

No.39

授業科目名	総合歯科実習Ⅳ 講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員 小口 隆
授業コード	総Ⅳ-2023-2実-後期	連絡先	〒 222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-8 TEL 045 - 472 - 5223 携 帯 - - E-mail <a href="mailto:kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp">kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp</a>
分類	必修・選択必修		
学年	1年・2年		
学期	前期・後期		
曜日・回数	月～金 曜日 68回 136時間		
時 限	1～4時限 9:00～10:30 10:40～12:10 13:00～14:30 14:40～16:10		

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※ 歯科技工士として臨床現場で働くために、架工、義歯の補綴物製作に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容 (進度・予定)	備 考	時間
1～6回 全部床義歯実習	蠟義歯完成までを習得	担当 小口 12
5～11回 義歯の名前入れ	災害時等の義歯紛失を防止できる	担当 小口 10
12～14回 歯冠修復補綴物の製作	歯冠修復waxupを習得	担当 小口 6
15～17回 TEK製作実習	TEK製作法を習得し説明できる	担当 小口 6
18～26回 定期試験受験用模型製作	後期 校内試験用の模型製作	担当 小口 18
27～36回 臨床実習	臨床の模型を使用し製作する	担当 小口 20
37～68回 歯科技工士に必要な能力の反復練習	歯型彫刻・屈曲・デッサンを習得	担当 小口 64

評価方法

total

136

- ・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書

・本校オリジナルの実習書を配布する。

副読本・資料

資料およびレジュメなどは必要に応じて配付

その他